



ブルーフレアーの美しいグラフィックが施されたソフト

2001 FXS

●取材協力/ハーレーダビッドソン レインボー phone 0298-22-



CUSTOM FANATICS TWIN CAM 88 SPECIAL



ドラッグバーハンドルを装着したコック周りはスッキリとしたイメージ。HD純正オプションのラバーグリップが装着され



ホットドック製ソロシートはソフトなパッチリとフィットするデザイン。的なフォルムにも影響は大きい。

レインボーオリジナルとなるブルーフレアーが描かれたソフトイルスタンダード。ピレリウインター、キャッツアイテールランプ、ティアドロップエアクリーナー、ネスのステンレスミラー、フロントステンメッシュブレーキホースなどを含むコンプリート販売で価格は210万円。お買い得感が高い。

かオモシロイ！
位のオリジナルな新車販売も、なかなかオモシロイ！
レインボーのカスタムマシン。シヨップ単位のオリジナルな新車販売も、なかなかオモシロイ！

ここで紹介するのは、同シヨップが新車の販売車両としてカスタムしたモデルばかりである。このページでは、ブルーフレアーに美しくペイントされたソフトイルスタンダード、そして、70年代のローライダーを彷彿とさせるスタージス仕様のFXDB(ベースはFXDL)を紹介する。レインボーは、ハーレーダビッドソンの正規販売店ということもあって、著しくノーマルのスタイルを損なうようなカスタム車両は製作しない。この2台のように、ノーマルと見間違えるほど高い完成度の特徴。
まずソフトイルカスタムだが、純正のドラッグバーハンドルとラバーグリップをチョイス。シートにホットドック、ステンレスミラーにアレンネスを選んでいる他は、すべてレインボーのオリジナルパーツを用いている。いずれにしても、細かな改造よりもカラーリングの変更が、いかに大きな変化をマシンに与えるかというお手本ともいえるべき美しい仕上げとなっている。
そして、FXDLダイナローライダーをベースに製作されたFXDBは、シヨベル、エボリューションでもラインナップされていたスタージスのカラーリングを施されている。注目すべきは、フロントフォークやエンジンもブラックアウトで仕上げられている。これはメッキパーツを、黒に塗ったものだ。純正パーツをベースにうまくスバイスをふりかけたレインボーのカスタムマシン。シヨップ単位のオリジナルな新車販売も、なかなか

スタージスのロゴをタンクに描いたダイナローライダー

1999 FXDB (FXDL BASE)

●取材協力/ハーレーダビッドソン レインボー phone 0298-22-6666



フロントフォークはダイナローライダーのシルバーとメッキをブラックアウト。ここまでやるのはなかなか手間がかかる。



シヨベル、エボリューションに続いて、ダイナでもスタージスをつくってしまったレインボーオリジナル。ドラッグバーハンドルにパッドランダーシート、前後ホイール、バックミラー、フロントフェンダーはHD純正オプションをベースに製作されている。



エンジンもFXDXやナイトトレインに使われるブラックのものではなくて、シルバーメッキのものを塗装して、仕上げられている。





外見はまるっきりヘリテイジソフトテイルだけ
中身は驚きのダイナワイドグライ

1999 FLHD (FXDWG BAS)

●取材協力/ハーレーダビッドソン レインボー phone 0298-22-6



このマシンのステップボードとサイドスタンドは本来ダイナではハイウェイベグの位置に装着されている。16インチのホイールにFLフォーク、フロントフェンダーなどのマッチングはバッチリだ。下のように左からでも、ダイナと分かる人は少ないはず。

パンヘッドみたいなのに、バッテリーもサスも丸見えなんだね。なに、これ？ヘリテイジ？「なんているという声が聞こえてきそうな、60年代っぽいカラーリングだけど、なにを隠そう、実はこれ、ダイナワイドグライドがベースになっている！99年モデルのFXDWGをベースに、外装からフォークまでを全交換してつくられたつてワケ。レインボーでは、この車両をFLHDの名前で、11月末に行われたカスタムハーレーのイベント『クールブレイカー』に参考出品した。あまりの完成度の高さに、ほとんどの人が、これがダイナワイドグライドだと気づかなかつたはずだ。ファットボイのハンドルバーに16インチのスポークホイール、FLのフォーク、そして、ダイナシャシーのハイウェイベグ部分を利用して装着されたステップボード、フルカバードリアサスなど、疑う余地のないとびきりの完成度には、ただ納得するばかりだ。



前、後ろから見ても、FLか見えない。フォーク、ステップボード、テールランリアフェンダーキット、リスペンションなど、すべてレインボーのオリジナルとなる。バランスシャフトが入っていないが、ラバーのダイナシャシーFLうのも、どんな乗り味なのに乗って見た気がする。

CUSTOM FANATICS TWIN CAM 88 SPECIAL

リアのラックとあいまって、クラシックなイメージを助長するスプリングソロシート&マウントは、ヘリテイジによく似合う。



クラシックスタイルをさらに追求したスプリングソロシートのヘリテイジ

ヘリテイジソフトウェアクラシックは、その名の通りノスタルジックなイメージのスタイルで、落ち着いた雰囲気を持ったモデルである。ソフトウェアシルビヤには、振動を打ち消す一次バランサーを装備したツインカム88Bが搭載され、エボリューション時代よりも振動を減らした快適な乗り味を感じられるようになった。パールホワイトをまとったこのモデルは2001年の新車で、レインボーが数々のカスタムパーツを装着した上で販売するコンプリート車両となる。装着されるパーツは、ファットボーイのハンドルに、ラバーグリップを交換、スプリングソロシート&マウント、丸型バックミラー、クロムラック、ステップボードなど、ほとんどが純正オプションとなる。これにダンロップのホワイトワイドストライプタイヤが装着されて23.9万円という、サービスプライスなのだ。ヘリテイジ購入を考えている人には魅力の1台だ。

2001 FXSTD

●取材協力/ハーレーダビッドソン レインボー phone 0298-22-6666



2001 FXSTD

●取材協力/ハーレーダビッドソン レインボー phone 0298-22-6666



オリジナルのソロシートに、同じくオリジナルのFRP製ポテールフェンダー。このフェンダーは近日発売を予定している。

デュースをベースに実現されたソフトテイルスタンダード



横からのスタイルは完全にソフトテイルスタンダードだ。フォークのアウトチューブとシートレールカバーの形状で唯一デュースとわかる。

この車両も2001年モデルのデュースをベースに、ソフトウェアスタンダードを製作したもの。大きな変更はハンドル、タンク、シート、リアフェンダーだ。ここで注目したいのは、ポプテールのリアフェンダー。これはレインボーのオリジナルパーツで、FRP製だ。今後はこのパーツをオリジナルで販売していく予定らしい。

主なカスタムポイントは、ドラッグバーハンドルに、ラバーグリップ、ハンドルバーライザー&クランプとここまですべてHD純正パーツを使用。FXSTのタンク、フロントウインカムマウント、キャッツアイテールランプ、ポプテールリアフェンダー、ソロシートなどはレインボーのオリジナルでつくられたものとなっている。

サンダンスのローライダーヘッダースを装着。太いスラッシュカットが存在感ある迫力のリアビューをつくりだしている。やっぱりローライダーにはこれっきゃない?



ステップ位置はダイナローライダーでもおなじみのミッドコントロールに変更。ファットポテールがワイドグライドを強調する。

ダイナワイドグライドをベースに走りの要素を盛り込む!

ダイナワイドグライドシリーズの中でも、最も極端なチョップスタイルを誇っているのがダイナワイドグライドだ。ワイドグライドにエイブハンガー、フォワードコントロール、ファットポテールが、アメリカカンスタイルを主張している。しかし、ここで登場するワイドグライドは、走りのワイドグライドローライダーへと近づけるカスタムが施されている。ドラッグバーハンドル、ミッドコントロールに前後ブレーキキャリパー、ローターの交換、極めつけはサンダンスのローライダーヘッダースとFCRキャブの組み合わせだ。ドラッグスタイルの、アグレッシブな雰囲気も全面にアピールされている。



1999 FXDWG

●取材協力/ハーレーダビッドソン レインボー phone 0298-22-6666

